

平成28年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

始めに、昨年度、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、瀬戸内市の教育大綱が策定されました。教育委員会では、この大綱の五つの重点施策を柱として、教育行政を推進していきます。

学校教育においては、学びの基本は授業であるとの認識のもと、学ぶことは楽しい、もっと学びたいと思う子どもたちが増えるよう、授業及びそれを支える教育環境の改善を推進します。

また、保育園、幼稚園、小学校や関係機関が連携して就学前教育や特別支援教育などの充実に取り組んでいきます。

社会教育に関しては、公民館や図書館を中心に、市民の学習ニーズに基づく生涯学習の機会の充実に取り組むとともに、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる場の提供に努めます。

また、古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保存・継承するとともに、それらを活用して豊かな文化の創造に努めます。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 新図書館について

かねてより整備を進めておりました新図書館は、去る5月18日に、議員の皆さまにもご臨席をいただき、無事、竣工式を挙行政らせていただくことができました。また、6月1日には、「瀬戸内市民図書館もみわ

広場」として開館しました。

また、学校教育での図書館活用をより推進するため、市内公共図書館と学校図書館をオンラインで結ぶシステムを構築し、同時に新図書館から学校図書館への物流システムも整備しました。

本年度は、長船図書館の読書環境の改善を図るとともに、引き続き、市内全域での図書館サービスの向上に努力していきます。

○ 外国語教育の推進について

グローバルな視点で社会を生き抜く人材の育成を図るため、市内の全ての幼稚園、小学校及び中学校に、7人の外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語教育を推進します。幼児期から外国語に慣れ親しむ機会を確保し、コミュニケーション能力の素地を養うため、発達段階に応じて系統的に指導することとしています。また、ALTとのコミュニケーション活動を通して、外国の生活や文化について理解を深める取り組みの充実を図っていきます。

○ 邑久中学校大規模改造について

邑久中学校大規模改造については、今年度から3年間で計画的に実施することとしており、今年度は、南棟の大規模改造工事を予定しています。財源については、一部予定していた国庫補助金が不採択となったことから、全額を合併特例事業債の借り入れとし、交付税で措置される予定です。工事に係る入札は、去る4月8日に公告し、5月20日に実施しました。これにより、請負業者が決定したため、今議会に契約の議案を提出させていただいています。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では5月28日から7月18日まで、特別企画展『せとうち猫めぐりー猫撮り屋 ^{もりはらてるあき} 森原輝明写真展』を開催しています。広島在住の写真家・森原輝明氏による、牛窓の猫と港町の風景を、鞆の浦や尾道の猫写真とあわせて展示します。猫撮影ツアーや、招き猫絵付け体験などのワークショップも実施し、また動物愛護財団やNPO団体と連携して捨て猫や餌付け問題などの啓発活動も展示室で実施しています。

7月23日から8月28日までは、瀬戸内国際芸術祭2016の広域連携事業として採用されている特別企画展『^{こんどうたかひろ} 近藤高弘 ^{せいすい} 生水ーうつろいゆくウツワー』を予定しています。陶芸・美術家の近藤高弘氏が、「水」をテーマに部屋全体を使った体感型の展示を企画しています。

そして、9月3日から10月23日までは、特別展『^{もりとうがく} 森陶岳の全貌展ー飽くなき挑戦の軌跡ー』を予定しています。森陶岳氏は、瀬戸内市在住で、岡山県重要無形文化財保持者であり、また、岡山県の文化の向上に著しく貢献されたことにより、このたび岡山県文化賞を受賞されました。同氏が空前の大窯プロジェクトの大挑戦に至った過程をたどり、人間像にスポットを当てる展覧会です。初期の代表作から最新作まで、各時代の足跡を網羅した内容で、東京・京都の国立近代美術館、公立美術館、全国の所蔵家などから約120点の作品を集め、その約8割が岡山では初公開となる見込みです。

引き続き、ワークショップやギャラリートークを充実させ、文化に親しんでいただける環境作りに努力していきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では5月18日から7月10日まで、テーマ展「日本刀の見どころ勘どころ」を開催しています。昨今刀剣に興味を持ち始めた方の来館が増えていることもあり、初級者向けの日本刀鑑賞方法を紹介する展示を行っています。

7月16日から9月19日まで、特別展「^{はくおう き}薄桜鬼 ^{とうけんろく}刀剣録 ～幕末維新の刀剣展～」を開催します。今年は幕末をモチーフとしたアニメや舞台、ゲームなど幅広く展開する作品「薄桜鬼」とのコラボレーション企画です。生麦事件、桜田門外の変や神戸事件など、幕末維新の事件にかかわった刀剣を展示します。

また、晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーンにあわせて、5月、6月のほぼ毎週日曜日などに、古式鍛錬の実演公開を行っています。

○ 市指定重要文化財について

教育委員会では本年3月16日付で、桃山時代の創建時の姿を継承し、江戸時代中期に再建された餘慶寺薬師堂を瀬戸内市指定重要有形文化財（建造物）に指定するとともに、伝統の技術を継承しつつ独自の表現で備前焼の新たな道を切り開いた、備前焼作家の隠崎隆一氏を瀬戸内市指定重要無形文化財技術保持者（備前焼製作技術）に認定し、4月27日に、指定書及び認定書の交付式を開催しました。今回指定した2件を含めて市指定重要文化財の件数は72件となりました。教育委員会では今後もこれら貴重な文化財の保存と継承に努めていきたいと考えています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成２８年６月６日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次